

「晴れの日の器」

8名の壺屋焼陶工が制作した特別な日に使う器を一同に展示いたします。



作者：赤嶺 肇幸
作品名：赤絵台付小皿

トウシビー祝い（生年祝い）をイメージして長寿を意味する海老文などをデザインしました。



作者：石倉 一人
作品名：東道盆
(トウダアブ)

晴れの日の酒席をイメージして作りました。東道盆とは、酒のつまみ（オードブル）を入れる器です。



作者：江口 聡
作品名：線彫5寸皿

子供の入学祝いに使う器として小振りの食器を作りました。



作者：金城 英樹
作品名：象嵌皿

ひな祭りに使う器として桃の花をお皿全体にデザインしてみました。



作者：金城 吉彦
作品名：蓋付碗

いろいろな記念日に使える器として特別感のあるセット柄の器を作りました。



作者：小橋川 明史
作品名：赤絵皿

トウシビー祝い（生年祝い）などをイメージして縁起の良い赤をテーマとした器を作りました。



作者：高江洲 康史
作品名：カラカラ(酒器)

結納の席をイメージして運氣上昇、富と幸福、出世などの意味がある龍をデザインしてみました。



作者：玉城 望
作品名：嘉瓶(ユシビン)

宴の席をイメージして作りしました。嘉瓶とは、お祝いの場に泡盛を持つて行くために使われた器です。

那覇市指定無形文化財 壺屋焼8人展

晴れの日の器

2023
7/28 FRI
8/13 SUN

壺屋焼のこれからを担う陶工と那覇市立壺屋焼物博物館によるグループ展を開催いたします。第4回目となる今回は「晴れの日」をテーマに、赤嶺肇幸・石倉一人・江口聡・金城英樹・金城吉彦・小橋川明史・高江洲康史・玉城望の8人の陶工が、特別な日(晴れの日=ハレの日)に使うための器を制作しました。また、作品と併せて各陶工の制作意図やそれぞれが選んだ晴れの日についての基本的な歴史や文化を紹介いたします。作品だけでなく、普段知ることのない制作の裏側についてもぜひご堪能ください。

【作者在廊日】

月	火	水	木	金	土	日
休館日				7/28 (午前中は全費在廊) 玉城 望	7/29 金城 英樹	7/30 石倉 一人
7/31 休館日	8/1 江口 聡	8/2 高江洲 康史	8/3 金城 吉彦	8/4 赤嶺 肇幸	8/5 石倉 一人	8/6 江口 聡
8/7 休館日	8/8 小橋川 明史	8/9 高江洲 康史	8/10 金城 吉彦	8/11 赤嶺 肇幸	8/12 小橋川 明史	8/13 金城 英樹

SPECIAL EVENT

陶工によるギャラリートーク

司会：比嘉 立広 (那覇市壺屋焼物博物館学芸員主査)

● 1回：7/30 (日)

Guest 金城吉彦・玉城望・江口聡

● 2回：8/ 6 (日)

Guest 石倉一人・金城英樹

● 3回：8/13 (日)

Guest 小橋川明史・高江洲康史・赤嶺肇幸

◆内容：作者自身が今回の作品や作陶について解説いたします。

◆時間：各 午前11時～ ※1 時間程度

◆場所：壺屋焼物博物館 3階

◆申込：不要 ※当日先着順

